

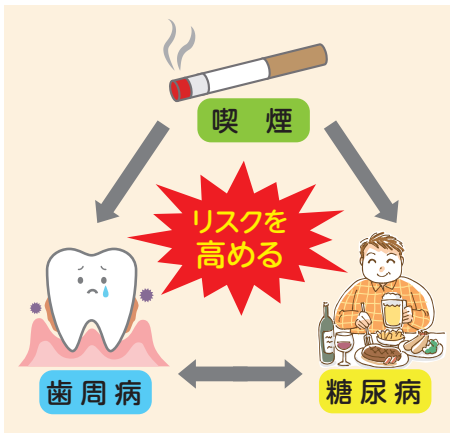
歯科健診が守る全身の健康 〈知らないと怖い「糖尿病×歯周病×喫煙」〉

令和8年4月号の本コラムで、糖尿病の特徴や、健康診断による早期発見と生活習慣による予防の大切さについてお話ししました。実は、糖尿病は「歯周病」や「喫煙」とも深く関係していることをご存じでしょうか。6月には、「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」と「禁煙週間（5月31日～6月6日）」があります。この機会に、歯と口の健康、受動喫煙の防止や禁煙の大切さについて考え、生活習慣を見直してみよう。

歯ぐきの炎症

「血糖」コントロールに打撃

歯周病の大部分は、歯周病細菌の感染が原因で起こる歯ぐきの炎症です。糖尿病のある方は歯周病を発症・悪化させやすく、また歯周病があると炎症の影響で血糖コントロール



コントロールが悪化しやすいことが知られています。さらに喫煙は歯ぐきの血流を悪くし、歯周病を進行させるだけでなく、糖尿病の発症や重症化のリスクも高めます。また、周囲の人が吸う煙による受動喫煙も歯周病への影響が指摘されています。

山形市の調査で判明！

9割が「歯周病」!?

山形市が実施した唾液検査による歯周病検診では、歯周病の疑いがあると判定された方で、その後実際に歯科医院を受診された方の91%が歯周病と診断されています（令和元年、4年度調査）。また、定期的に歯科健診を受けている方は、受けていない方と比べて歯周病の疑いが少ないことも分かりました。歯周病は自覚症状が少ないまま進行することも多いため、症状がなくても3～6カ月に1回、歯科健診を受診することが大切です。歯周病の予防は、糖尿病の管理や全身の健康維持、さらには健康寿命の延伸にもつながります。

市の歯科保健事業を賢く活用

山形市では、市民の皆さんの歯と口の健康づくりを支援するため、さまざまな歯科保健事業を実施しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。市の事業を上手に活用し、お口と全身の健康を守りましょう。



このページでは、山形市の2大ビジョンに関する内容をお届けします。

ユネスコ映画都市だより



2017年からユネスコ創造都市ネットワークに映画分野で加盟している山形市。山形市の他に映画分野で加盟している国外約30都市の中から毎回1都市を紹介します。ユネスコ創造都市・山形市の取り組みは、ユネスコ創造都市やまがたホームページへ。

Vol. 1 プサン(韓国)

プサンは、韓国の南東部に位置する港町で、人口340万人を有する韓国第二の都市です。

釜山国際映画祭

1996年に始まり、毎年9月～10月に開催されるアジア最大級の国際映画祭で、映画都市プサンを象徴する取り組みです。2025年は第30回という節目を迎え、10日間で23万人を超える参加者が集いました。また、映画祭の開催に合わせて、世界中のユネスコ映画都市が集まる会議が開催され、山形市も参加して、創造都市間の交流を図りました。



プサンインターシティ映画祭

2017年から毎年開催され、ユネスコ映画都市をはじめとする韓国国内外の映画を上映、紹介しています。山形市で制作された映画も上映されており、世界の映画都市に山形市を発信する機会となっています。

このほかにも、山形市で開催した『やまがた創造都市国際会議2025』で、プサンのフィルム・アーカイブ担当者を招き、取り組みを発表していただくなど盛んな連携を行っています。



▲映画祭の会場「映画の殿堂（釜山シネマセンター）」

問 文化創造都市課 内線799